



# 万燈通信

平成31年1月7日発行

明けましておめでとうございます。

－ 本年も休泊中の発展と子どもたちの健やかな成長に向けて、ご協力をお願いします －

平成31年を迎え、ご家族お揃いになり健やかにお正月をお過ごしになられたことと思います。保護者の皆様、本年もよろしくお願いいいたします。

平成も残り4か月余りとなり、1年で最も短い3学期ではありますが、3年生にとっては進路を決める大切な期間であり、1、2年生にとっては、しっかりと今の学年の学習を習得し、進級に向けて体力づくりや人間関係づくりに取り組み、中学生として総合的な力をつける重要な期間です。特に学習面においては、それぞれの学年で習得すべき基礎的・基本的事項を定着させるために、1学期からの課題である「学習習慣」を身に付ける事が大切です。お子さんの学習習慣は以前に比べ、身に付いて（学習への意欲が高まって）きているでしょうか？

学習習慣は、「勉強しなさい」「宿題をしっかりとやりなさい」という「声かけ」だけでは、なかなか身に付かないと思います。小学生と異なり、中学生は「やらされる学習」から「自分で目的や目標を持って進んでやる学習」に変わらなければなりません。そのためには「なぜ、勉強するのか」「将来、どんなことをしたいのか」「自分はどんなことが得意で、何を伸ばしたいか」など、将来に向けたビジョンをもたせることが大切です。学校では、学年毎に「週末課題」「自主学習ノート提出」や「自主学習プリントの配布」を行い、家庭学習の習慣づくりに取り組んでいます。また、キャリア教育として、進路コンパスや進路PASカードを用い、個人個人の進路適正や学校生活の充実度、悩みの把握などを行い、将来のに向けて進むべき道を生徒に自覚させる学習を行っています。しかし、授業時間では一人一人とじっくり話し合う時間を確保することは難しいのが現状であり、また、一人一人のビジョンはすぐには作りだせません。将来に向けたビジョンは、お子さんの性格や長所・短所、趣味等を把握している保護者だからこそ少しずつ育むことができるはずで、部活動や学校行事が比較的落ち着いたこの3学期は、家庭で過ごす時間が1年間の中では最も多くもてる時期だと思います。2年生のPASカードで「将来の進路について保護者の考えと一致しているか」という質問に「よく当てはまる」と答えた生徒が全国平均に比べやや多いのに対し、「あまりあてはまらない」と答えた生徒もやや多く、2極化している様子がうかがえます。忙しい中とは存じますが、親子の会話を意識して増やし、お子さんに将来の夢や希望をもたせることが、自発的な学習の始まりにつながると思います。どうかこの時期、親子の時間を大切にしてください。

また、今年は亥年で、イノシシに関してよく聞く言葉では「猪突猛進」があります。イノシシは目標に向けて勢いよく前進するイメージがありますが、過去には亥年に関東大震災や阪神・淡路大震災など大きな地震が起きています。したがって、すべてがうまくいく成功イメージだけではなく、いざというときにはどう対処するかという危機管理も合わせて考えなければならない年と考えています。そこで、じっくり目標を考え、設定できたらそれに向けて勢いよく突き進み、時々振り返って修正し、また進む、そんな一年にしていきたいと思います（毎年のことですが）。

さて、2学期の終業式には、生徒に今年の目標をしっかりと立てて欲しいという話しをしました。そして本日は、目標を立てた人もまだの人もいるかも知れませんが、単なるお題目にするのではなく、いつまでにこうしていけば、目標に達するという明確な期間や数字、そのために何をするのかという具体的な手段も入れて、目標を見直してくださいと話しました。先にも述べましたが、目的や目標をもつことが行動を起こす第一歩になります。

今年もお子さんの健やかな成長に向けて、職員一同努力をして参りますのでどうぞよろしくお願いいいたします。

